

第4回2026 ドッグダンス競技大会 (理事長賞付与)

兼ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップ 2027 派遣選考 / Crufts 2027 インターナショナル・フリースタイルコンペティション派遣選考

主催：一般社団法人ジャパンケネルクラブ 後援：FCI (国際畜犬連盟)

※FCI ドッグダンスワールドチャンピオンシップ 2027 につきましては、派遣を実施いたしません。

開催日：10月10日(土)・11日(日)

両日とも 受付：午前7時30分～、競技開始：午前9時(予定)

審査員長：アレナ・スモリコヴァ<チェコ>

※アレナ女史は、国際審査員として10年以上経験し、競技者としてワールド・チャンピオン、ヨーロピアン・チャンピオンなど多くアワードを獲得しています。

競技種目：10日(土) フリースタイル

11日(日) ヒールワーク・トゥ・ミュージック(HTM)

競技クラス：ビギナー・ノービス・インターミディエイト・アドバンスド・アトラクション(両日)

会場：山梨県・ドッグリゾートWoof <http://www.dogresortwoof.jp/>

出陳料：フリースタイル及びHTM……12,000円

アトラクション……6,000円

※別途、昼食代(お弁当)費用1,300円がかかります。

申込開始日：8月12日(水)……フリースタイル及びHTM

8月18日(火)……アトラクション

発情により欠席となった場合でも、出陳料のご返金はいたしませんので、予めご承知おきください。

<出陳申し込みの流れ>

一日の審査頭数に限りがありますため、各日50頭までの申し込みといたします。
そのため、以下の方法により先着順で出陳の申し込みを受け付けいたします。

- ① フリースタイル及びHTMは、8月12日(水)の正午を申込開始日とし、次の事項を記載して下記メール宛てに送信をお願いします。

8月12日正午以前にメールをいただいた場合は、出陳申し込みは無効となります。

メール送信先：jkcevent@jkc.or.jp

メールを送信いただく際には、件名に「2026 ドッグダンス競技大会」と記載してください。

・会員番号・氏名・ご住所

・競技種目・競技クラス及び申込頭数(例：HTM ノービスクラス 1頭)

- ② アトラクションは、8月18日(火)の正午を申込開始日とし、次の事項を記載して上記メール宛てに送信をお願いします。

8月18日正午以前にメールをいただいた場合は、出陳申し込みは無効となります。

※アトラクション以外の競技クラスで50頭に達する場合があります。その際は、アトラクションの申し込みが出来ませんので、予めご承知おきください。

メールを送信いただく際には、件名に「2026 ドッグダンス競技大会」と記載してください。

・会員番号・氏名・ご住所

・競技種目・競技クラス及び申込頭数(例：フリースタイル アトラクション 1頭)

- ③ 各日50頭となった時点で、申し込みの受付を終了させていただきます。
各日50頭を超えてからお申し込みをいただいた方には、お断りの返信をいたします。
各日50頭に満たなかった場合でも、8月28日(金)正午には締め切らせていただきます。

- ④ 出陳申し込みを受け付けた場合には、出陳申込書をメールにてご送付いたします。

- ⑤ 出陳申込書が届きましたら、必要事項を記載いただき出陳料を添えて技術事業課へ送付をお願いします。

- ⑥ 出陳申込後のキャンセルはご遠慮ください。

(問合せ先)

〒101-8552 東京都千代田区神田須田町1-5

一般社団法人ジャパンケネルクラブ 事業部技術事業課 (☎ダイヤル 03-3251-1656)

出陳資格

(1)ビギナー（初心者）クラス及びアトラクション（FUNクラス）は、本会会員が所有する生後9カ月1日以上（2026年1月9日及びそれ以前に生まれた犬）の本会登録犬（アペンディクス登録犬を含む）及び本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬となります。

※ビギナークラスは2回演技が出来ますが、審査対象となるのは1回となります。

(2)ノービス（1度）、インターミディエイト（2度）、アドバンスド（3度）のクラスは、本会会員が所有する生後18カ月1日以上（2025年4月9日及びそれ以前に生まれた犬）の本会登録犬（アペンディクス登録犬を含む）及び本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬となります。

(3)本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬は、申込締切日までにマイクロチップ装着又はタトゥーを実施していなければなりません。

競技会申込書には、該当箇所にマイクロチップ番号又はタトゥー番号をご記入ください。

本会の非公認犬種につきましては、目録上「交雑犬」の表記となります。

(4)本会国内公認団体の登録犬につきましては、事前に初代アペンディクス登録が完了したもののみとなります。よって、初代アペンディクス登録同時の出陳申込はできません。

(5)次に該当する犬は出陳することはできません。

- ①伝染病・皮膚病など健康上の危惧のある犬。
- ②テーピングされている犬。
- ③縫合されている犬。
- ④包帯をしている犬。
- ⑤妊娠中の犬、競技会開催日前75日以内に出産した犬。
- ⑥発情期の牝犬。

これは、会場であるドッグリゾートWoofが発情犬の入場が不可であるため。

(6)避妊や去勢された犬は、出陳することができます。

ハンドラー

①本会のクラブ会員

②本会クラブ会員の家族（同居の血縁者）

この場合の出陳犬はその家族名義の所有犬に限ります。

重複出陳

①フリースタイルとHTMに重複出陳することができます。その際、両競技種目の競技クラスは問いません。

②ビギナー、ノービス、インターミディエイト、アドバンスドの出陳犬は、同じ競技種目のアトラクションに出陳することはできません。

審査と進行

日程は下記の通りとなります。

10月10日（土）：フリースタイル／アトラクション

10月11日（日）：HTM／アトラクション

競技構成

<HTM>

(1)ルーティンは、最低75%以上の脚側と25%以下のフリースタイルの動きで構成されていること。犬はルーティンの最中、ハンドラーから2m以上離れてはならない。

(2)理想的なヒールワーク・トゥ・ミュージック・ポジションにおいては、犬とハンドラーの距離は一定であり、15cm以下が望ましい。犬またはハンドラーは、お互いの動きを制限してはならない。犬は常にハンドラーのペースや指示に順応しなければならない。全てのポジションにおいて、犬は平行を維持し、横方向への動きを除き、常に単線の動きであることが望ましい。犬とハンドラー間の距離が50cmを超えた場合は、フリースタイルと見なされる。犬の動きが遅れたり、犬が先に出たりするのは望ましくない。距離はハンドラーの最も近い部分から犬の最も近い部分で計測する。犬は四脚で歩かなければならない。犬はハンドラーのどちら側での作業においても、平等にくつろいでいなければならない。犬は自然体で動くべきである。

(3)ルーティンの難易度はポジションの数だけではなく、動く方向やペース変更の多様性にも関係する。ポジションの変更は、犬が自らポジションを判断する能力を示す。

(4)ルーティン構成に際して、次のとおりとする。

①ビギナー（初心者）。

左、右または両方の脚側行進（犬は前進のみ）で、直線、曲線及び円（8の字）を組み込むことを推奨する。可能な限り、歩度変換を行うことが望ましい。

②ノービス（1度）。

1から3ポジション、1から2方向が望ましい。常歩・速歩・緩歩の歩度変換を行うことを推奨する。

③インターミディエイト（2度）。

3から5ポジション、2から3方向が望ましい。常歩・速歩・緩歩の歩度変換を行うことを推奨する。

④アドバンスド（3度）。

6から8ポジション、そのうちいくつかは4方向（前後左右）が望ましい。常歩・速歩・緩歩の歩度変換を行うことを推奨する。

⑤アトラクション（FUNクラス）。

モチペーターの使用は、可能とする。なお、採点はされませんので、席次はつきません。

(5)ポジションは、次のとおりとする。なお、ハンドラーは以下の項目から自身のポジションを選択する。

①犬の右肩がハンドラーの左足の横に平行に位置する（左側）。

②犬の左肩がハンドラーの右足の横に平行に位置する（右側）。

③犬の右肩がハンドラーの右足に平行して位置する（逆向き右側）。

④犬の左肩がハンドラーの左足に平行して位置する（逆向き左側）。

⑤犬の右側がハンドラーの前に来るように、横向きで立つ。犬の右肩はハンドラーの右足に位置する。これはハンド

- ラーの右足の内側、外側どちらに位置していても良い。
- ⑥犬の左側がハンドラーの前に来るように、横向きで立つ。
犬の左肩はハンドラーの左足に位置する。これはハンドラーの左足の内側、外側どちらに位置していても良い。
- ⑦犬はハンドラーの後ろに犬の右肩がハンドラーの左足に来るように立つ。
- ⑧犬はハンドラーの後ろに犬の左肩がハンドラーの右足に来るように立つ。
- ⑨犬はハンドラーの両足の間に位置し、ハンドラーと同じ方向を向く。犬の肩はハンドラーの足に位置する。
- ⑩犬はハンドラーの両足の間に位置し、ハンドラーと反対の方向を向く。犬の肩はハンドラーの足に位置する。

<フリースタイル>

- (1)ルーティンは、75%以上のフリースタイルの動き及び25%以下の脚側で構成されていること。犬の健康を脅かす動き以外、全ての動きが認められる。
- (2)理想的なフリースタイルは、様々な動きのタイプの多様なバラエティーで構成されている。動きは音楽の変化に合わせて流れるようにルーティンに組み込まれるべきである。
- (3)ルーティン構成に際して、次のとおりとする。

- ①ビギナー（初心者）。
- 規定のトリックから少なくとも3つ選択して、ルーティンに組み込むこととする。なお、規定外のトリックを行うことができるが採点はされない。
- ※ビギナーの規程のトリックは次のとおりとする。
- ア スピン／お回り（犬は単独での右回りまたは左回り）。
- イ ウィーヴ／股くぐり（股くぐり歩きまたは8の字股くぐり）。
- ウ アラウンド（人の周りを犬が時計回りまたは反時計回り、犬は前進）。
- エ お手おかわり。
- オ 招呼。
- カ 伏臥。
- キ ジャンプ（その場で足飛びまたは腕飛び）。
- ク フロント（犬と人が対面した位置）。

- ②ノービス（1度）。
- 有害とみなされないムーヴであれば、すべて許可される。
- ③インターミディエイト（2度）。
- 有害とみなされないムーヴであれば、すべて許可される。
- ④アドバンスド（3度）。
- 有害とみなされないムーヴであれば、すべて許可される。主にトリックで構成され、ディスタンスワークが奨励される。
- ⑤アトラクション（FUNクラス）。
- モチベーターの使用は、可能とする。なお、採点はされませんので、席次はつきません。

ルーティンタイム

ルーティンタイムは次のとおりとする。

- ①ビギナー（初心者）……………1分以上2分以内。

- ②ノービス（1度）……………1分30秒以上4分以内。
- ③インターミディエイト（2度）…2分30秒以上4分以内。
- ④アドバンスド（3度）……………3分15秒以上4分以内。
- ⑤アトラクション（FUNクラス）……………4分以内。

犬のアクセサリー及び小道具

(1)犬のアクセサリー及び小道具は、次のとおりとする。

- ①リング内では1つの首輪のみが認められるが、首輪無しでパフォーマンスすることが歓迎される。首輪はデコレーションされていても良いが、首輪のサイズは犬の肩を超えるものであってはならない。尖った首輪、エレクトリック・カラー及び他の同様の抑制装置は禁止とする。この規制は、競技会開始から終了まで適用される。
- ②ハーネス、コート、マズル等は必要であればリングの外で着用しても良い。ただし、マズルを使用する場合は、犬が水を飲んだり自由に息をしたりすることができるような物でなければならない。
- ③長毛の犬が頭部にゴムのヘアバンドを使用することは、犬の視界が良くなるため認められる。ヘアバンドは、犬の視界を向上することであるため、装飾としてみなされるべきでない。
- ④グリッターや毛髪染料で犬をデコレーションすることは禁止とする。
- ⑤犬に服を着用させることは禁止とする。
- (2)ハンドラーが小道具を自身で設置したり撤去しない場合、ヘルパーを用意することができる。
- (3)リングで使用される各小道具は、ルーティンのパフォーマンスには不可欠なものであり、犬によって使用されなければならない。
- (4)小道具もしくはハンドラーのコスチュームは決して犬を見劣りさせるようなものであってはならない。
- (5)小道具やアクセサリーの準備及び撤去は、合計3分間（2回×1.5分間）以内とする。

リード

リング内でのリードの使用は、認められない。リードは、リングに入場する前にリングスチュワードに渡す。

指示

指示は声符、ジェスチャー及び体符で与えられる。犬とハンドラーがルーティンを通し、チームワークの調和を維持すれば指示の回数に制限はない。

リングへの入退場

リングへの入退場時は、次のとおりとする。

- ①ハンドラーは犬を自身の腕に抱きかかえることができる。ただし、小道具で犬を持ち運ぶことは許可されない。
- ②ルーティン開始前に犬を地面に降ろし、犬は自発的にスタート位置につかなければならない。
- ③ルーティン終了時、犬がハンドラーの腕の中、背中、脚

等の場合は、リングからの退場前に一度、犬を地面に降ろさなければならない。

失格について

次の各号に該当した場合、失格となる。

- ①申し込みと異なるハンドラーまたは出陳犬で出場した時。
- ②審査員を欺こうとする行為があった時。
- ③不正行為をした時。
- ④ドーピング規則に従わなかった時。
- ⑤リング内に食べ物やモチベーターを持ち込んだ時（例、玩具やクリッカー等）。
ただし、アトラクションにおいては、モチベーターの使用が可能な場合は除く。
- ⑥出陳犬がコントロールできなくなり、リングを離れた時。
ただし、出陳犬がルーティン中に、誤ってリング外に出てしまった場合は、減点となる。
- ⑦出陳犬がリング内で排泄した時。
- ⑧ハンドラーが明らかにルーティンをトレーニングラウンドにした時（音楽は最後まで継続する）。
- ⑨手荒なハンドリング（口頭または身体的）をした時。
- ⑩会場内で、出陳犬が他の犬または人を攻撃した時。
- ⑪出陳犬がルーティン中、リング内でリードを着けていた時。
- ⑫リング外からのアシストがあった時。
- ⑬抑制するために犬を触った時。ハンドラーから犬に触ることはできず、犬から行うものとする。
- ⑭小道具やアクセサリーの準備及び撤去の合計時間が、3分間を超えた時。
- ⑮音楽が4分15秒以上となった時。
- ⑯ハンドラーの不適切な言動があった時。
- ⑰ハンドラーが規則に従わない時。
- ⑱リング内で犬が服を着ている時。
- ⑲リング内で犬が首輪を2つ以上着けている時。

上記以外においても、規程の違反行為は失格に繋がる時がある。

表彰

- (1)理事長賞は次の2頭に授与されます。
 - ①HTM競技のアドバンスドクラス1席犬。
 - ②フリースタイル競技のアドバンスドクラス1席犬。
- (2)クラス別(アトラクションは除く)に得点の順位によって、1席～5席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

その他

- (1)発情により欠席となった場合でも、出陳料のご返金はいたしませんので、予めご承知おきください。
- (2)会場であるドッグリゾートW o o f は、飲食物の持ち込みが禁止となっております。
- (3)会場であるドッグリゾートW o o f では、狂犬病予防接種証明書(コピー)、3種混合以上のワクチン接種証明書(コ

ピー)を提示していただく場合がありますので、競技大会当日ご持参ください。

- (4)第4回2026ドッグダンス競技大会・アドバンスドクラスは、2027年に開催の「ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップ2027」並びに「Crufts2027インターナショナル・フリースタイル・コンペティション派遣選考を兼ねて開催いたします。

アドバンスドクラスにお申し込みされる方で派遣選考を希望される方は、出陳申込書の派遣選考欄に☑をしてください。なお、選考後の派遣辞退は致しかねますので、予めご承知おきください。

なお、ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップ 2027 と Crufts2027 インターナショナル・フリースタイル・コンペティション両大会の派遣選考を希望することは可能です。

Crufts2027インターナショナル・フリースタイル・コンペティション派遣について

Crufts2027インターナショナル・フリースタイル・コンペティション（開催国：イギリス／開催日：2027年3月）への派遣については、次の通りとします。

- (1)Crufts2027インターナショナル・フリースタイル・コンペティション出場を希望する第4回2026ドッグダンス競技大会のアドバンスドクラス出陳犬（非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬含む）の中からフリースタイルの成績最上位の1頭より選考する。
- (2)ハンドラーが所有者（クラブ会員）の家族の場合、本会に入会することとする。
- (3)派遣費用は全て自己負担とする。
- (4)派遣における航空機手配、犬の輸出入に関する各種手続き等は派遣者自身で行う。
- (5)派遣時に同居犬（派遣犬以外の犬）を連れて行くことは出来ない。
- (6)出場申し込みは派遣者本人が行うものとする。
- (7)Crufts2027インターナショナル・フリースタイル・コンペティションの出場枠は11頭（予定）となりますため、日本からの出場申し込みが受理されない場合も考えられます。予めご承知おきください。

F C I ドッグダンスワールドチャンピオンシップ 2027 につきましては、派遣を実施いたしません。

ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップ 2027 派遣について

ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップ2027（開催国：ベルギー／開催日：2027年6月24日～6月27日）への派遣については、以下のとおりとします。

1. 競技種目

ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップでは、以下の3種目が実施されます。

- ・フリースタイル
- ・ヒールワーク・トゥ・ミュージック（H T M）
- ・バイアスロン（同一ペアがフリースタイルおよびH T Mの両種目に出場し、その合計成績で競う種目）

2. 派遣対象ペア

派遣を希望するペアのうち、第4回2026ドッグダンス競技大会のアドバンスドクラス出陳犬（非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬を含む）の中から以下の順位のペアを派遣対象とします。

- ・フリースタイル：上位3ペア
- ・H T M：上位3ペア

なお、同一ペアがフリースタイルおよびH T Mの両種目で上位3ペアに入った場合は、バイアスロンでのエントリーとなります。同一ペアによる複数種目へのエントリーはできません。

3. 派遣可能ペア数

派遣可能なペア数は、バイアスロンへの出場ペア数に応じて、以下のとおり決定します。

(1)バイアスロンに3ペアが出場する場合

フリースタイル1ペア、H T M1ペアを派遣する。

(2)バイアスロンに2ペアが出場する場合

フリースタイル2ペア、H T M2ペアを派遣する。

(3)バイアスロンに1ペアが出場する場合

フリースタイル3ペア、H T M3ペアを派遣する。

(4)バイアスロンへの出場がない場合

フリースタイル3ペア、H T M3ペアを派遣する。

なお、上記(1)～(3)の場合は、種目選択の結果により繰り上げ選考が発生する可能性があるため、本大会では各種目について、派遣を希望する上位4ペアまでを派遣候補とします。

4. ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップ2027への派遣については、以下の条件とします。

- (1)派遣は、1ハンドラーにつき1頭とします。
- (2)ハンドラーが犬の所有者（クラブ会員）の家族である場合は、本会への入会を条件とします。
- (3)派遣にかかる費用は、すべて派遣者の自己負担とします。
- (4)派遣に伴う航空券の手配、宿泊施設の手配、および犬の輸出入に関する各種手続き等は、派遣者自身の責任において行うものとします。
- (5)派遣時に同居犬（派遣犬以外の犬）を連れて行くことは出来ない。
- (6)ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップ2027では、通訳の手配は行いません。

5. チームリーダーについて

チームリーダーは、派遣者の中から選出するものとします。